

報道関係各位

2023年10月31日

札幌学院大学 企画政策課

〒069-8555 北海道江別市文京台 11 番地

[TEL] 011-386-8111

[E-Mail] kouhou@ims.sgu.ac.jp

## 海洋ゴミで民族楽器をつくるアーティスト集団「ゴミンゾク」初来道 札幌学院大学学術講演会 白老町で初開催

江別市大麻と新札幌にキャンパスを構える北海道有数の文系総合大学である札幌学院大学(北海道江別市、学長:河西邦人)では、社会への知の還元を目的として約50年に渡り、年に一度、北海道内の地域にて「札幌学院大学学術講演会 講演と音楽の夕べ」を開催しています。

第48回となる今年は、白老町で初めての開催をします。この度の「夕べ」では、「人はなぜ音楽を奏でるのか」をテーマに、「音楽考古学」という学問を切り口に音楽の起源を紐解く、人文学部こども発達学科 柘谷 隆男 教授による講演と、アフリカ・インド・モンゴルなどさまざまな民族楽器と民族音楽に精通しながら、世界的に問題となっ

ている海洋ゴミを活用して本格的な楽器を製作・演奏するアーティスト「ゴミンゾク」によるスペシャルライブをお届けします。「ゴミンゾク」は今回初めての来道・北海道公演となります。

さまざまな原始的な楽器を複数用意し、音色や使い方などの実演しながら、音楽の起源を体感して頂きます。



### ▼開催内容

- 第48回 札幌学院大学学術講演会 講演と音楽の夕べ「人はなぜ音楽を奏でるのか」

日時：11月18日(日) 14:00~16:30

場所：しらおい創造空間「蔵」(白老町本町3丁目)

参加料：無料(先着80名)

主催：札幌学院大学

後援：北海道教育委員会胆振教育局、白老町教育委員会、北海道新聞社、AIR-G' FM 北海道、札幌学院大学後援会、札幌学院大学文泉会

申込：札幌学院大学ウェブサイト 申込フォームより (<https://sgu.tayori.com/f/231118/>)

## 白老町地域おこし協力隊とも連携、胆振管内の同窓ネットワークづくりに

また、本学の卒業生で白老町地域おこし協力隊であり一般社団法人 SHIRAOI PROJECTS 代表として活動している山岸 奈津子 氏（2003 年人文学部人間科学科卒）と連携します。一般社団法人 SHIRAOI PROJECTS が主催し、学術講演会後には胆振管内の同窓生とのネットワークを構築する機会として交流会を企画・開催する他、19 日には今回の出演者であるアーティスト「ゴミンゾク」と白老海岸の海洋ゴミ散策と海洋ゴミについての理解を深めるイベント「ゴミンゾクと行く、海岸散策とミニ演奏会」を開催します。

⇒詳細はこちらをご覧ください（ <https://forms.gle/B38ncK2rqLfmaqyT8> ）

## 出演者プロフィール

### 札幌学院大学 人文学部 こども発達学科 教授 枅谷 隆男

1979 年国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。卒業後、北海道立紋別南高等学校を始め、北海道内の高等学校に音楽科教諭として勤務。高等学校勤務の傍ら、音楽教育に関する研究を発表するほか、音楽の起源や楽器に関する考察・研究発表を行う。2016 年には長年の功績が認められ全日本音楽教育研究会高等学校部会 功労 者として表彰される。高等学校教諭退職後は、幼稚園及び認定こども園園長、札幌市生涯学習センターさっぽろ市民カレッジ講師を始め石狩管内の大学での非常勤講師を務め、2021 年札幌学院大学人文学部こども発達学科教授に着任する。

### 大表 史明 (Oomote Fumiaki) / パーカッションニスト・作曲家

アフリカ・インド系の打楽器をはじめ世界各地のリズムに精通する民族系パーカッションニスト。古典音楽から現代音楽まであらゆる場面で講演・演奏活動を行っている。その音楽に対する幅広い知識を生かし、演奏のみならず民族楽器の製作から、テレビ番組・CMなどの作曲も手がけるなどマルチクリエイターとして活動中。

## 海洋ゴミ楽器集団ゴミンゾク

海洋ゴミを主原料として世界各国の民族楽器から得た知識を元に製作した多種多様な『海洋ゴミ楽器』達を通してゴミと資源の境目について考えるアート集団。海洋ゴミ × 民族楽器 をコンセプトに 楽器製作者としても活動している打楽器奏者 大表史明(オオオモテフミアキ)を中心に世界中の民族楽器を操るミュージシャンで構成される。



札幌学院大学  
SAPPORO GAKUIN UNIVERSITY

札幌学院大学は、「自律」「人権」「共生」「協働」を理念に掲げ、心理学部、人文学部、法学部、経済経営学部の4学部7学科に大学院3研究科を擁する北海道有数の文系総合大学です。江別市大麻の自然が豊かで広々としたキャンパスに加え、2021年には再開発の進む新札幌駅近接地に、「多様なこと・ひと・もの」との「協働」をコンセプトにした新札幌キャンパスを開設し、より豊かな学びと経験を得られる環境が整備されました。

冬季オリンピックのリュージュ、カーリング、アイスホッケーの日本代表選手を輩出している他、現在北海道地区6連覇中の駅伝、昨年北海道の大学で初の全日本優勝を果たした弓道などスポーツ界での活躍も目覚ましいものがあります。また本学の卒業生は、道内外問わず、教育、医療、ビジネス、公共サービスなどさまざまな分野で、優れたスキルと知識を活かし、地域社会の課題に対して積極的に取り組んでおり、この度の学術講演会を開催する胆振地域でも多くの卒業生たちが活躍しています。

<https://www.sgu.ac.jp/>



新札幌キャンパス



江別キャンパス

## — このリリースについての問い合わせ —

札幌学院大学 企画政策課  
江別市文京台 11 番地  
011-386-8111  
(平日 9:00-17:00)  
seisaku@ims.sgu.ac.jp

一般社団法人 SHIRAOI PROJECTS  
白老町地域おこし協力隊  
代表 山岸 奈津子  
090-6995-8835  
natsuko.next@gmail.com